



第二十二回 神主養成講座案内書

尾張神祇会

一、神主養成講座の目的

- ① 本講座は、尾張神祇会が行うものです。その中で「第8条教育機関」の定めるところにより、1年間を通じて、神主のあり方や素行を実際に体験・勉強し、必要な資格を取得させる目的をもって開設している講習会である。
- ② 神祇会は講習会・研修会を組織として運営しています。また神事の際の雅楽奉納の為、旭雅楽会に入会し活動をする必要があります。又、奉賛会『猿遊会』の入会参加も必要です。

二、受講条件

- ① 尾張猿田彦神社に奉職を望まれる方、また勉強したい方。
- ② 猿田彦大神・神社神道・神主について勉強したい方。
- ③ 男女年齢不問、高校生程度の学力を有した、健康で真面目に受講しようとする方。

三、期間

平成30年 4月1日 ～ 平成31年 3月31日 までの1年間（開講祭は、平成30年 4月14日 ）

四、階位取得

- ① 取得階位は『直階』です。
- ② 各部門ごとに、出席数・テスト等の審査基準を合格された方に修了証を授与します。
- ③ 講習会・研修会・雅楽会・猿遊会の4部門の修了証を授与された方が、階位取得の審査を受ける事が出来ます。

五、開講日数・時間・会場

全過程に出席する必要があります。

① 講習会(基礎学習過程)

毎月 第2土曜日・第4土曜日10:00～16:00。（日柄により変更有）

「神社神道」による祭式礼法、行儀作法、基礎学習、祝詞、その他、

主な 1日の流れ	10時00分～10時30分	朝拝（大祓・心得）
	10時40分～12時00分	講義①②（この間適宜休憩あり）
	12時00分～13時00分	昼休み
	13時00分～16時00分	講義③④（この間適宜休憩あり）
	16時00分～	掃除

② 神主研修会

神主有資格者及び受講生全員が出席の必要あり。

神主の基本的な姿勢を教育、研修致します。

毎月 第2土曜日17:30～19:30。 月会費（積立）2,000円

③ 旭雅楽会

毎月 第2・4日曜日18:00～19:30。1日15日28日18:00～19:00の5日有り

受講中は会費毎月3,000円(楽器代は別途)。

笙、箏、龍笛(雅楽笛・神楽笛共に)の一楽器を勉強し習得する。

『越殿楽』の演奏、『陪臚』『皇鑿急』の唱歌

④ 猿遊会月例祭

毎月 28日、月例祭19:00～20:00頃

(入会費1,000円、年会費2,000円。)

⑤ 他 に

祭り、祈祷、体験実習(練成・水行)、参拝旅行、舞楽(希望者)、その他。

※ 各会の費用は、入会時にまとめて一括での支払いといたします。

七、費用

① 講座の各会の費用は下記の通り

講習会(基礎学習過程)	1年間で10万円(含む教材費)。	100,000
神主研修会	月会費(積立)2000円 x 1年分	24,000
旭雅楽会	会費毎月3,000円 x 1年分	36,000
猿遊会	(入会費1,000円、年会費2,000円。)	3,000
総額		163,000

平成30年3月31日までに、全額一括前納ください。

尚、納入後は理由の如何を問わず、一切返却出来ませんので、了承願います。

② その他の費用として、

白衣、半襦袢、白差袴、作務衣、笄、足袋、帯、白鼻緒草履、カバン等一式で、5～6万円程度。

別紙の受講願にサイズを記入頂ければ発注いたします。

八、その他

① 本講座は1年間で資格を授与する講座です。各会の1年間の全日程表をお渡ししますので、欠席しないように計画を立ててください。欠席の場合は次の講習日までに補習を取っていただきます(要費用)。従って、勤務先・家庭の事情等の都合等を考慮して申し込みを行ってください。

② 講座の規定課程を終了した方には、「終了証」を授与。

また、項目『六、開講日数・時間・会場』①～⑤は全て階位授与の査定対象になり出席率等を含め、「階位検定・授与規定」により、神主の資格「階位」を授与します。

※出席数不足・各テストが70点以下は階位の授与はできません。

③ 資格取得後、話し合いにより尾張猿田彦神社にて非常勤神主として奉職可能です。

④ 白衣・袴が無い方は、事前に申し出をお願いいたします。事前に発注をいたします。物によっては納期に1週間かかるものもあるので注意願います。

⑤ 尾張猿田彦神社は、単立法人で神社本庁には所属していませんので、神社本庁関係の神社に奉職を望まれる方には不向きです。

⑥ 宿泊を希望される方は、尾張神祇会には宿泊施設がありませんので、各自にて近くの旅館・ホテルなどを手配してください。

⑦ 書類審査、また神主として不真面目と思われる方、講師・他の受講者の妨げになると判断、また受講生からの申し出があった場合は、受講を遠慮願う場合(返金はしません)がありますので御了承願います。

九、申込み締切り

平成30年3月31日までに、下記を添付して申し込んで下さい。

- ① 受講願(添付のもの)(講習費を添えて)
- ② 履歴書(添付のもの)
- ③ 身上書(添付のもの)
- ④ 健康診断書(添付のもの)
- ⑤ 住民票(家族全員掲載)
- ⑥ 尾張神祇会入会申請用紙(研修会・1年分を添えて)
- ⑦ 旭雅楽会申請用紙(旭雅楽会1年分を添えて)
- ⑧ 猿遊会申請用紙(入会金・年会費を添えて)

受講生心得

この講習会に参加する受講生は、次に詳述する事項については、講習期間中の日常生活に遺漏無きよう万全を期されたい。

1、心構え

受講生の年齢・経歴及びその受講動機にかかわらず、積極的かつ真摯な態度で望んで下さい。

受講生に対し、その生活態度の規範はすべて神職に照らして指導しますので、一般職と異なり、聖職者をめざしているとの心構えでのぞむ。

よって、受講中の言動に問題がある場合は、以後の受講を中止となる場合があります。

2、身嗜み

開・閉講祭では、次のように身嗜みに留意して30分前には来社されたい。

①服装

男女共に、白衣、白袴にて参列

着付け等できない方は、講師が着付けるため時間を考えて来会をお願いします。

(開講祭の初日は30分前には来会をお願いいたします。)

②頭髪

男子…… 後ろから両耳がハッキリ見えるよう、襟足は白衣の衿に髪がかからぬよう整髪のこと。髭(ひげ)は厳禁。

女子…… 髪が長い場合は後ろで束ねること。

なお、男女とも茶髪または黒以外の白髪染め・過度のパーマ・マニキュア・ピアス等のアクセサリー類は厳禁とする。

注1 平素の受講時も清楚な身嗜みで来会すること (サンダル、短パン等厳禁)。

注2 初日・2回目・3回目、装束を渡したり、着付けを教えたり等時間がかかるので30分前には来会。

3、受講時の服装と所持品

白衣、白差袴、白足袋、白帯(マジック帯可)、笏、白鼻緒草履、使用テキスト類(開講初日に渡します)、筆記用具、ノート又はルーズリーフ、印鑑、白ハンカチ、健康保険証、その他日用身の廻り品、本案内書

注1 白衣、白袴、屨、足袋、白帯、ハンカチ、下着にいたるまですべて純白に限る。

なお、開講祭から使用するので必ず事前に準備のこと。

神祇会を通し購入希望者には、申込時に申し出て下さい。

(発注してから一週間程度かかる物もありますので注意願います)

白衣、白差袴を着る前に潔斎(水をかぶる)をして下さい。

4、神拝行事(朝拝・夕拝)

神拝行事は基礎実習の一環として行っていますので、白衣・白袴等に替えて、午前10時前までに拝殿で拝礼し、講習室へ。また夕拝については講義終了・掃除後、拝殿に整列のこと。研修会や神社実習の前後には職員全員で、拝礼を行いますので、白衣・白袴に着替えて神前に整列して下さい。

5、その他

- ① 受講中の外出は一切禁止。このため昼食は弁当を持参する。(神祇会にて弁当の手配もいたしますが、前日夕方までに要申請、430円。)
- ② 携帯電話は、更衣室に保管し、教室には持込まないこと。
- ③ 緊急の電話は神祇会まで。(それ以外の呼び出しに応じません。)
- ④ 平常の通学は平服(品位の保持と清潔に留意のこと。Tシャツ・短パン・サンダルばきは厳禁)で構わないが、神主として相応しい服装を心掛ける。
- ⑤ 受講中は白衣・白袴・白足袋・白鼻緒草履を着用する。下着(丸首シャツは不可)、ハンカチはすべて白に統一。
- ⑥ 更衣室を設けるので、必ずバッグ・風呂敷とハンガーを用意すること。
- ⑦ 自家用車・バイク・自転車での出講は、駐車・駐輪場に駐車して下さい。

身上書

平成 年 月 日現在

ふりがな 氏名	最終学歴	昭和・平成	年	月
	学校名	卒業 年 在学中		

性格		趣味	
長所		短所	

今の健康状態お聞きます

身体障害 持病などの	医師の指示・注意 (診断書添付)	理由
無・有	無・有	

意志

トイレ掃除。雑巾がけ。炊事・食事の準備。、他指示があった場合。

行なう	行わない	理由
-----	------	----

寒中水行

行なう	行わない	理由
-----	------	----

受講の理由

取得後の活用方法

親戚、知人に神主・神職のお知合いはいますか？

いない	いる	貴殿との続柄	奉仕神社名

家族氏名	本人との続柄	生年月日	職名・勤務先・学校名・学年	同居 別居
				同居 別居
				同居 別居
				同居 別居
				同居 別居
				同居 別居
				同居 別居

神祇会統理	神祇会役員	受講生No	入金日(全額)	入金伝票No

受講生No	神主基本No

神職養成講習会受講願

平成 年 月 日

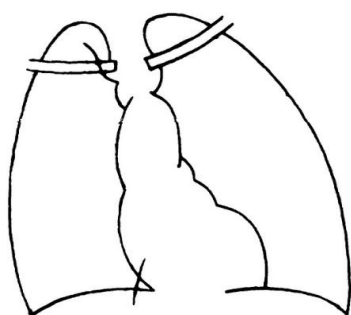
尾張神祇会 統理 殿

尾張神祇会主催 第 回神主養成講座を受講いたしたく
関係書類および受講料料を添えてお願い申し上げます。

ふりがな		性別	男 ・ 女
氏 名		印鑑	Ⓜ
本 籍	都道 府 県		
現 住 所	〒 □ □ □ - □ □ □ □		
	— —		— —
		e-mail:	@
生年月日	昭和 平成	年	月 日生 (満 才)

衣装等について		<input type="checkbox"/> 持参する	<input type="checkbox"/> 神社にて購入を希望します
商品名	必要数	商品名	必要数
1 白衣	<input type="checkbox"/> 着	6 白鼻緒草履	<input type="checkbox"/> 足
2 半褌袴	<input type="checkbox"/> 着	7 足袋	<input type="checkbox"/> 足
3 白差袴	<input type="checkbox"/> 腰	8	
4 作務衣(上下セット)	<input type="checkbox"/> 着	9 笏	<input type="checkbox"/> 着
5 マジックベルト・白帯 (どちらかを選んで○を)	<input type="checkbox"/> 本	10 装束鞆 (白衣等入れますので必要)	<input type="checkbox"/>
注文にあたり	身長	cm	ウエスト
		cm	足の大きさ
			cm

ふりがな	生年月日			年齢	性別
氏名	昭和 平成 年 月 日生			満 才	男 女
本人連絡先	〒 □ □ □ - □ □ □ □			☎ — —	
ふりがな					
住所					
☎ — —	e-mail: _____@_____				

診断事項						
身長	cm	体重	kg	胸部 X 線 撮 影 所 見	直接 間接 平成 年 月 日撮影	
視力	右	(.)				
	左	(.)				
血圧	/ mmHg					
検尿	蛋白()・糖()・潜血()					
診察所見	無・有()					
身体障害	運動	無・有()				
	聴覚	無・有()				
	言語	無・有()				

現病歴	無
	有
	●病名 ●治療状況 ●養成講座参加に対する医師の意見

既往歴 (年齢も)

正座について

診断の結果上記のとおり相違ないことを証明する。
平成 年 月 日 住所(所在地)
医療機関名
医師の氏名
(印)

【医師の方へお願い】

本講習会は、心身ともに厳しいものであるため、もれなくご記入下さいますようお願いいたします。

尾張神祇会入会申請用紙

題記について、「尾張神祇会」で階位を取得した者は、尾張猿田彦神社と雇用契約を結ぶことができます。尾張猿田彦神社に勤務しようとする神主は、「尾張神祇会」に、また「猿遊会」に入会する必要があります。

下記に「尾張神祇会規程」の一部を抜粋して説明いたしますので、誤解の無いように御確認をお願いします。

記

(目的)

第2条 尾張神祇会は、神主を統括するとともに、教育を行い、神祇会規定により、神主に階位・身分の資格を与える業務を行う事を、目的とする。

(神主・準神主)

第5条 神主は、「神主の心得」を旨として敬神生活をする有資格者で、行儀作法・勉学・修練・善行に励んで、品位の向上と人格の形成に努めなければならない。

2 準神主とは、神主を目指す者で有資格者に成るまでの期間中の者を言い、第8条1項③④に充当する期間中の者、及び神主見習いの期間中の者をいう。また、当会会員として扱う。

3 神主および出仕は、信者の模範となるべく立場で有るから、当然に「猿遊会」の会員で有る必要がある。

(階位・身分の授与)

第6条 神主の階位・身分は「階位検定・授与並びに身分・服装・授与料に関する規定(階位規定)」により授ける。また、「階位規定」の詳細は、別途に定める。

※ 階位の資格取得に関して、取得検定時に、各会①②⑤の出席率およびテストの点数が、検定対象となっていますので、普段の努力が必要です。

(教育機関)

第8条 当会は、教育機関として、次の4機関を設ける

1 ①「神主研修会」(抜粋)有資格者及び講座③④受講中者の勉強・研修機関です。

会費……2,000円、 開催……原則、第2土曜日、

②「特別研修会」(詳細は略)

③「(神主)養成講座」(詳細は略)

④「特養講座」(抜粋)一般者が本神社に職員として、神主を志す者への教育機関、

⑤「旭雅楽会」(抜粋)主に神主は雅楽、巫女は舞楽を習得するものとする。

会費……3,000円、 雅楽……1・15・28日、第2・4日曜日、18:00から

以上、

尾張神祇会 統理殿

上記を承諾の上、神祇会に入会して、努力向上をすることを誓約いたします。

平成 年 月

住所

氏名

印

生年月日 昭和 平成 年 月 日生

第22回 神主養成講座日程表 (自平成30年4月～至平成31年3月)

尾張神祇会

事務所(尾張猿田彦神社内) TEL 0586(64)9738

※諸事情により日時・内容が変更される事があります。ご了承願います。

年	月	日	曜日	六曜	回数	大祓・心得			講義			行儀・祭式礼法		掃除 ～15分
						10:00～10:45	10:45～11:00	11:05～12:00	13:00～14:00	14:10～16:00				
2018	4月	14日(土)	赤口	1	10:00～着付け 10:30～開講祭(前回生徒)			講習会説明会	講義・祭式礼法	講義・祭式礼法	神社			
		28日(土)	先負	2	大祓他の購読	祭式礼法テキスト	祝詞心得テキスト	祭式礼法(1)	祭式礼法(2)	〃				
	5月	13日(日)	赤口	3	〃	前回までのテスト	祝詞テキ・発声練習	祭式礼法(3)	祭式礼法(4)	〃				
		26日(土)	先負	4	〃	前回までのテスト	雅楽	祭式礼法(5)	祭式礼法(6)	〃				
	6月	10日(日)	赤口	5	〃	前回までのテスト	基礎知識テキスト	雅楽	祭式礼法(7)	〃				
		24日(日)	先負	6	〃	前回までのテスト	基礎知識テキスト	祭式礼法(8)	祭式礼法(テスト)	〃				
	7月	7日(土)	仏滅	7	〃	前回までのテスト	雅楽	大祭礼法(1)	大祭礼法、通し練習	〃				
		28日(土)	先負	8	〃	前回までのテスト	基礎知識テキスト	雅楽	大祭礼法、通し練習	〃				
	8月	4日(土)	仏滅	9	〃	前回までのテスト	雅楽	大祭礼法(2)	大祭礼法、通し練習	〃				
		25日(土)	先負	10	〃	前回までのテスト	基礎知識テキスト	雅楽	大祭礼法、通し練習	〃				
	9月	9日(日)	赤口	11	〃	前回までのテスト	雅楽	大祭礼法(3)	大祭礼法、通し練習	〃				
		29日(土)	先負	12	〃	前回までのテスト	基礎知識テキスト	雅楽	大祭礼法、通し練習	〃				
	10月	6日(土)	仏滅	13	〃	前回までのテスト	雅楽	大祭礼法(4)	大祭礼法、通し練習	〃				
		27日(土)	先負	14	〃	前回までのテスト	基礎知識テキスト	雅楽	大祭礼法、通し練習	〃				
	11月	10日(土)	赤口	15	〃	前回までのテスト	雅楽	大祭礼法(5)	大祭礼法、通し練習	〃				
		25日(日)	先負	16	〃	前回までのテスト	基礎知識テキスト	雅楽	大祭礼法、通し練習	〃				
	12月	8日(土)	赤口	17	〃	前回までのテスト	雅楽	大祭礼法(6)	大祭礼法、通し練習	〃				
		23日(日)	仏滅	18	〃	前回までのテスト	基礎知識テキスト	雅楽	大祭礼法、通し練習	〃				
2019	1月	12日(土)	赤口	19	〃	前回までのテスト	雅楽	大祭礼法(7)	大祭礼法、通し練習	〃				
		27日(日)	先負	20	〃	前回までのテスト	基礎知識テキスト	雅楽	大祭礼法、通し練習	〃				
	2月	2日(土)	先負	21	〃	前回までのテスト	祝詞テキ・発声練習	大祭礼法(8)	大祭礼法、通し練習	〃				
		16日(土)	赤口	22	〃	前回までのテスト	基礎知識テキスト	雅楽	大祭礼法、通し練習	〃				
	3月	3日(日)	先負	23	〃	前回までのテスト	祝詞テキ・発声練習	大祭礼法(9)	大祭、終了祭の練習	〃				
		9日(土)	仏滅	24	〃	前回までのテスト	基礎知識テキスト	大祭、終了祭の練習	大祭、終了祭の練習	〃				
		17日(日)	赤口	錬成	〃	手水	大祭、終了祭の練習	月次祭研修	祭式テスト(階位申請)	〃				
	23日(土)	赤口	閉講	〃	閉講祭(祭主・斎服)・閉講式	掃除、	掃除、準備練習、潔斎、	〃						
	4月14日(日)	赤口	引継	〃	大祓他の購読	10:30頃より 第23回神主養成講習会の開講祭(祭主・斎服)に奉仕、終了証授与	〃	〃						
2018	4月22日(日)	先負	実習	8:20朝拝より 春季例大祭奉仕							〃			
	8月14日(火)	仏滅	実習	本神社の奥宮の「ちょうちん祭り」。神主・巫女・職員全員奉仕、am8:20又はpm13:00～祭事18:00、pm23:00頃まで							〃			
	11月22日(木)	赤口	実習	8:20朝拝より 秋季例大祭奉仕							〃			
2019	1月1日(火)	赤口	実習	元旦(夜23:45～9:00または朝8:00～18:00)、							〃			
	2日目		実習	2か3日の内で1日 8:20～の内で1日							〃			
	3日目		実習	4～8日の内で1日							〃			

①講習会期間中の実習体験(別表)は、絶対に休まないこと。4～6月の祭式練習は作務衣を着用。殿内祈祷は、講習日程に入って下りませんので、何回も見れる機会に習得してください(テスト有)。

②講義、行儀・祭式礼法の開始時に、前回のテストを行ないますので、覚えて来てください。また、各科目毎のテストに合格しないと階位が授与出来ませんので頑張ってください。

③研修会および雅楽は、神主会員の必修となっていますので全員出席参加を。